- A23** ネットタイイエカ幼虫におけるパーメスリン抵抗性の機構
 正野俊夫[○]、葛西真治、Indira S. Weerashinghe (筑波大・農林)
 Mechanisms of permethrin resistance in *Culex quinquefasciatus* larvae
 Toshio SHONO, Shinzi KASAI, Indira S. WEERASHINGHE (Univ.
 Tsukuba)

サウジアラビア産パーメスリン抵抗性ネットタイイエカJPal-per系幼虫はパーメスリンに対して2,500倍の抵抗性を示した。JPal-per系のパーメスリン抵抗性はP-450酸化酵素の阻害剤PBOとPTPEによって著しく低下したのでP450酸化酵素による解毒の増大が抵抗性の機構として働いていることが推定された。そこで¹⁴C-パーメスリンの *in vitro* の代謝を調べた。P450酸化酵素の活性は中腸の内容物を除去することによって測定可能となった。JPal-per系のP450酸化酵素によるパーメスリンの解毒活性は中腸で5倍、他の組織で20倍高く、この系統のパーメスリン抵抗性はチトクロムP450酸化酵素が主要な役割を果たしていることが明らかになった。

1500711

- A24** Deet含有芳香剤の忌避効果
 白井良和[○]、上村 清 (富山医薬大・医・感染予防医学)、
 長崎一雄 (日本動物薬品株式会社)
 Efficacy of aromatic compounds containing deet as insect repellent
 Shirai, Y., Kamimura, K. and Nagasaki, K.

Deet含有芳香剤の、ヒトスジシマカ (*Aedes albopictus*)、アカイエカ (*Culex pipiens pallens*)、コガタイエカ (*Culex tritaeniorhynchus*) に対する忌避効果を調べた。一辺が30cmのケージ3個をT字管でつなぎ、1つのケージに供試虫を入れ、他のケージにマウスのみを、残り1つのケージには検体とマウスを入れた。供試虫の入ったケージから出た蚊がT字管を通して、処理ケージと無処理ケージのどちらに多く入るかで検体の忌避効果を判定したので、その結果と芳香剤の相乗効果について考察する。